



新たなスタート

校長 江口 克也

2019年度がスタートしました。間もなく新たな元号「令和」もスタートします。今年で4年目を迎えた斐太北小学校区コミュニティ・スクール。今まで以上に、保護者・地域の皆さまと連携、そして、協働して教育活動を進めていきたいと思ひます。

4月1日、職員とともに「学校は子どものためにある。」ということを確認しました。当校の教育目標「進んで学ぶ子」、「心の豊かな子」、「たくましい子」の具現化、そして、子どもの自己実現のために私たちはどう処すべきか、自問しながら教育活動を進めてまいります。ご協力、ご支援をよろしくお願ひいたします。

先日、地域の方と、次のような話をしました。(立ち話でしたが)

今の子どもたちは、少子化の中で本当に大切に育てられている。失敗して困らぬよう、大人が先回りし、障害を取り除いてやっている。そのおかげで子どもは健やかに育っているように見えるが…。本当にそれがいいことなんだろうか。

不登校、ニート、引きこもりといったことが社会問題となっている現在、様々な要因はあるかとは思ひますが、ちょっとしたことが原因で社会参加できない子ども、大人が増えているように思ひます。逞しさ、打たれ強さが足りないとも言われます。

二度と立ち上がれないような経験はさせたくありませんが、失敗から学ぶことも多いはずです。上手な転び方、正しい起き上がり方を経験の中で身に付けさせたいと考えています。こうした思ひを皆様と共有できれば幸いです。

昨年度より児童数が10名減り81名となった斐太北小学校。教職員19名と合わせて、ぴったり100名。100名が力を合わせ、みんなで「一歩上の自分」を目指します。

今年もよろしくお願ひします。



10名の1年生 入学おめでとう